

漢方の本質

漢方とは**病気本位**ではなく、**治療本位**の東洋の医学です
どうということかという、**『病気ではなく、病人を治す』**のが漢方です。

同じ病気でも、**男性・女性・体質・病気の経過・軽度・患者の環境**などによってそれぞれ症状に応じた**処方・治療**をします。



この症状を **『証』** といいます。

基本は **『気』 『血』 『水』** のバランスを整えて治療します。

『気』・・・形がなくて働きだけがあるもの。精神・神経作用や神経系全体の働きを言います。

『血』・・・体の一部分に血のめぐりが順調でない場所があり、血液の滞留を起こします。
この状態を『瘀血(おけつ)』といいます

『水』・・・体液の水分代謝障害で体内の水分が異常分布して起こる症状やその症状を起こす
病院として水の変化を指します。

これらを考慮して生薬(植物・葉・茎・根)などや
鉱物、動物の中で薬効があるとされている
一部分を加工したものを利用して病人を治します。



出産後の主な症状

どうしてもお子様に栄養分を供給しますので

『血虚(血が足りない)』状態になります。
上半身に血流が足りなければ抜け毛や白髪が増えたり、
視力が低下したり。

その逆で下半身に血流が足りなければ、水虫になりやすかったり。

腰痛・むくみ易い・疲れやすい状態になります。

これらは**『腎虚(腎の弱り)』**とも言います。

第二子がなかなか授からないことも『腎虚』 = **『腎は精を蔵し、発育・生殖を主る』**



子育て中の主な症状

アトピー性皮膚炎・喘息・鼻炎など

これらは『腸』と『腎』の漢方を使います。

免疫細胞の60~70%は腸管にあるといわれています。

へその痛みは腸が冷えて痛くなります。

漢方は場所によって温める得意な生薬があります。

腹巻も、冷やさないように外気を入れない様にしてくれる
温める養生です。

もっと詳しく話を聞きたい人は
フジ薬局オーパ店
(FJドラッグ)でご相談いただけます
お気軽にご来店ください♪

川崎市麻生区上麻生
1-1-1
新百合丘オーパ 1F
FJドラッグ
漢方ブティックコーナー
(担当)梨本・坪田

